




調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	B-1(No.21)		調査位置						北緯	36° 50' 49.0000"		
発注機関	栃木県大田原土木事務所 企画調査部				調査期間	2008-01-22 ~ 2008-01-23				東経	140° 03' 17.0000"	
調査業者名			主任技師				現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	199.80 m				使用機種				ハンマー落下用具			
総掘進長	15.45 m	度	方向	地盤勾配	試錐機				ポンプ			
					エンジン							

標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取			室内試験	掘進月日
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 / 貫入量	深度	試験名および結果	深度	試験番号	採取方法		
													0	10	20								
(m)	(m)	(m)	(m)									(m)			(m)								
	199.15	0.65	0.65		シルト (M)	黒褐			軟らかい				1.15										
-1					ローム (Lm)				火山灰質粘性土 植生根・腐植物混入 含水比上位・粘性中位 4.40m付近まで軽石粒・砂分混入 以深、粘性上位となり均質 5.00m付近よりスコリア粒散在しやや固結状			1.45	1	1	1	30	3						
-2						茶褐～赤茶褐			軟らかい			2.15	1	15	1	1	35	3					
-3												2.50											
-4												3.15	1	20		2	30	2					
-5	194.60	4.55	5.20		スコリア (Sc)	赤褐			軟らかい			3.45	1										
-6	194.40	0.20	5.40		ローム (Lm)				火山灰質粘性土 腐植物多く混入 含水比・粘性上位 赤褐色の軽石粒・スコリア粒散在 7.60m付近より粘性下位になり半風乾状呈す 8.70～9.80m間は砂質状呈す 所々に中～粗砂分混入 下部は風化礫散在			5.15	1	15	1	2	30	2			5.50	1-1	
-7												5.45									6.35		
-8						茶褐～赤茶褐～暗茶褐～淡茶褐			軟らかい			6.00	00	50		00	50	0					
-9												6.50											
-10												7.15	1	1	1	1	30	3					
-11												7.45											
-12												8.15	1	1	1	1	30	3					
-13												8.45											
-14												9.15	1	15	1	1	5	30	3				
-15												9.45											
-16												10.00	00	45		00	45	0					
-17												10.45											
-18												11.15	1	20		2	30	2					
-19												11.45											
-20												12.00	00	35	1	1	45	1					
-21												12.45											
-22	186.75	7.65	13.05		粘土混じり砂礫 (GS-C)				礫は径 10～30mm程度の風化礫主体 マトリックスは細粒土主体に中～粗砂混入 14.60m付近より細粒土分多くなる自立する			13.15	11	12	11	34	34						
-23						灰茶褐						13.45											
-24												14.15	22	20	8	5	50	25	>50				
-25												14.40											
-26	184.35	2.40	15.45									15.15	9	8	9	26	26						
-27												15.45											